

達古袋小学校の未来を考えるシンポジウム

達古袋小学校の未来を語ろう

11月3日(土) 14:00 ~ 16:30 入場無料

会場：旧達古袋小学校（一関市萩荘字八幡 154-3）

主催：NPO 一関のなかなか遺産を考える会

後援：達古袋農業教育協会・国際なかなか遺産委員会

NPO一関のなかなか遺産を考える会は、2013年3月に廃校になった達古袋小学校を会場に、たくさんの方に達古袋小学校を知ってほしいとの思いから「明後日朝顔プロジェクト、なかなか大学校、雑巾がけ競走」を展開してきました。

11月3日の「なかなかZ-1グランプリ」には、全国からたくさん参加者が集まります。この機会をとらえ、「達古袋小学校の未来を考えるシンポジウム」及び 東京大学修士課程公開ゼミを開催することになりました。

先ずは、なかなか遺産創設者の村松伸氏・腰原幹雄氏からそれぞれの立場で、『なかなか遺産』について語っていただきます。その後、誰でも参加できるワークショップ形式で、なかなか遺産第一号である達古袋小学校の未来について語り合います。

公開ゼミ終了後は、懇親会を開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

◆ シンポジウム・・・無料

14:00 - 14:30 これまでのなかなか遺産 これからのなかなか遺産 東大教授対談—雑巾がけ対決の後で

村松 伸 : 東京大学生産技術研究所教授

腰原 幹雄 : 東京大学生産技術研究所教授

※ 司会 / 林憲吾 : 東京大学生産技術研究所講師

14:30 - 16:30 達古袋小学校の未来を語ろう

※ コーディネーター / 岡村健太郎 : 東京大学生産技術研究所助教

◆ 東京大学生産研究所 村松・林研究室公開ゼミ・・・無料

16:30 - 18:30 一関・平泉地域の古建築・景観研究の最先端

東京大学生産技術研究所 村松・林研究室

◆ 懇親会・・・会費 1,000 円

18:30 - 20:00

.....
< 申込書 > 参加希望の方はFAX (019 - 903 - 0179)をおおくりください。 申込締切：10/30

講演会に参加します。 公開ゼミに参加します。 懇親会に参加します。

氏名

所属

住所

連絡先（電話）